

| | | | | | | | |
|------|------------|------|----|------|---|------|------|
| 科目名 | 福祉行財政と福祉計画 | | | | | 単位 | 2.0 |
| 担当教員 | 林 博幸 | | | | | | |
| 授業形態 | 講義 | 開講期間 | 前期 | 配当年次 | 2 | 授業番号 | 2109 |

●授業のテーマ

福祉行財政の仕組み、福祉計画の策定の意義と手法

●到達目標

今日の社会福祉制度に共通する行政・財政の仕組みを学び、自治体を中心とする新しいサービス供給体制の特徴や福祉計画の策定・実施の目的、手法等を理解する。

●学習内容(授業概要)

今日の福祉改革が目指す方向をふまえつつ、国・自治体の行財政の仕組み、専門機関による相談システムの基本について概説する。

また福祉サービスの供給を充実させていくために自治体が策定する様々な福祉計画の目的、策定から実施・評価にいたる手法を取りあげ、住民参加の意義や必要な専門性を深める。

●学習内容(授業計画)

1. 本授業の概要について
2. 福祉と法制度
3. 戦後における福祉制度の展開過程
4. 福祉計画の概要
5. 福祉行政の骨格と法令
6. 国と自治体の行政組織
7. 社会福祉基礎構造改革
8. 福祉財政の基本と最近の動向
9. 自治体の財政、民間社会福祉事業の財源、費用負担
10. 相談過程と相談体制
11. 専門の相談機関、地域の相談システム
12. 福祉計画の意義と目的
13. 福祉計画の理論・技法と実際①
14. " ②
15. 半期のまとめ

●準備学習・事後学習の内容

準備では、テキストの予習を行って重要な考え方や用語等をチェックしておき、講義でより深い理解を得られるようにする。事後には、自分が関心を深めた内容やテーマ、疑問などをさらに探求する学習を行う。

●成績評価方法・基準

出席状況：3割

期末試験：7割

●テキスト（必携）

≪No.1.≫書籍名：『新・社会福祉士養成講座 10 福祉行財政と福祉計画』（第4版）、著者名：社会福祉士養成講座編集委員会、出版社：中央法規、販売先：Yショップ

●参考文献／その他

授業時に紹介する。

社会福祉の小六法（最新のもの）や用語辞典を備えておくのが望ましい（出版社は自由）。

●履修上の注意

社会保障・福祉制度の実際や改定の動向について関心を持ち、マスコミ等を通じて日頃から知識・情報を得るようにすると効果的である。